

秋葉台サンシャイン

第23号

【発行】秋葉台サンシャイン（秋葉台中学校区三者連携会議）
〒252-0816 藤沢市遠藤2984-3（遠藤市民センター内）
電話 (0466)87-3009 FAX (0466)87-3008



2024年(令和6年)3月

学校・家庭・地域が連携して子どもたちを育てます！

◆ 秋葉台小6年生の授業に、現役プロフットサル選手の菊池大介選手（湘南ベルマーレフットサルクラブ所属）をお呼びしました！

秋葉台小学校の6年生の総合的な学習の時間の中で、「将来の夢」について、講義を開催しました。講師は元プロサッカー選手で、現役プロフットサル選手の菊池大介選手にお越しいただき、自身の小学生の時の将来の夢や、プロサッカー選手になるまでのプロセスなどをお話いただき、最後には小学生からの質問にもお答えいただきました。

菊池選手は「将来を担っていく子どもたちに向けて、少しでも力になれば。」と熱心に語りかけ、また、耳を傾けてくださいました。



◆ 日本の伝統文化「茶道」で触れ合おう（秋葉台中学校 家庭部）

遠藤公民館の和室を使用し茶道の講師を招いて、月1回、作法等の学習をしています。

また、4年ぶりに遠藤地区文化祭において、日ごろの成果、「お点前」を披露することができました。当日は、大盛況で、用意していたお茶菓子は全てなくなりました。



◆ おもちゃの修理

遠藤地区文化祭にて、地区内のボランティアさんが、おもちゃの修理を行いました。

おもちゃの構造が年々複雑化している中、ボランティアの方々の長年の経験を活かして、修理されたおもちゃをお客様にお持ち帰りいただき、好評をいただきました。



◆ 薬物依存防止/藤沢ライオンズクラブ（秋葉台小学校 6年生）

「薬物はダメ ゼットイ」をキーワードに藤沢ライオンズクラブを講師に迎え、薬物乱用防止についての講義を開催しました。

啓発動画やパネルの展示等、子どもたちは真剣に聞き入っていました。



◆ 郷土の自然と共に！遠藤笹窪谷公園交流事業（秋葉台中学校 1年生）

青少年育成協力会との共催の中学生交流事業において、遠藤笹窪谷公園で花菖蒲の植え付けやマルチング用わらの敷き詰め、自然観察等を地域の方々にご指導いただきました。



◆ 農作物を育てる体験

<米づくり> (秋葉台小5年生)

<さつまいもづくり> (秋葉台小1年生)

毎年いけのかしら公園内の学習水田と畑で、5年生がお米を田植えから収穫まで、1年生がさつまいもの苗植えから収穫までを行っています。5年生が収穫したお米はおにぎりにしてみんなで食べ、収穫祭にはお世話になった地域の方々をお招きして、合奏のプレゼントをしました。1年生が収穫したさつまいもは、お家へのお土産にして持ち帰りました。

米づくりの指導は青木浩一さんと飯島康範さん、さつまいもづくりの指導は櫻井正男さんと伊澤慶市さんです。

ここ数年、老朽化により水が漏るなどのアクシデントが多かったいけのかしら公園内の学習水田ですが、令和6年4月には改修が予定されているとのことで、これからも子どもたちの体験学習の場として継続できそうです。



地域コミュニティ事業をとおして子どもたちの成長を!

◆ さつまいも掘りとコスモス狩り <遠藤の秋をさがそう>



2023年11月11日(土)に「さつまいも掘りとコスモス狩り<遠藤の秋をさがそう>」が開催されました。昨年度まで実施していた「郷土の散策」に代わり、本年度初めての試みとなりましたが、遠藤地区に在住の小学生38人が参加をしてくれました。

さつまいも掘りでは、まちづくり推進協議会自然環境部会長も務める飯島富士男委員指導のもと、自前の畑でいろいろな種類のさつまいもを掘ることができました。掘り終わった後も、掘り残しを探したり、土いじりをするなど、普段は体験できないことを体験することができ、子どもたちの笑顔が絶えることはありませんでした。

コスモス狩りでは、青木浩一委員のコスモス畑でコスモスの花をたくさん摘み、それを簡易的な花束に仕上げ、遠藤市民センターに持ち帰りました。遠藤産のさつまいもとコスモスの花束をお土産に満足のうちに解散しました。

(写真左上：さつまいも畑 右下：コスモス畑)



秋葉台サンシャインと遠藤地区青少年育成協力会が統合します。

令和6年度から秋葉台サンシャイン(中学校区に1団体。教育総務課所管)と遠藤地区青少年育成協力会(青少年課所管)が統合して1つの団体になります。両団体ともに「学校・家庭・地域が連携しながら青少年の健全育成を図る」ことを目的に活動してきましたが、時代の流れにより構成員の減少や委員の重複により、事業従事者が減少している現状から、同じ理念を持つ地域団体が統合し、新たな体制で活動を推進していくことになったものです。秋葉台サンシャインとして発行する広報紙はこれが最後になりますが、令和6年度からは遠藤地区青少年育成協力会の事業なども含め、幅広い広報活動を実施していきたいと考えています。

(会長：渡辺 節)

